

# 東京都 スポーツ推進委員だより

第114号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2018年4月30日発行

編集：情報委員会

社員総会



## 平成30年度活動方針・事業計画の概要

### 【方針】

韓国平昌で開催された2018年オリンピック・パラリンピックは、日本選手の活躍が連日報道され、「見る」スポーツで感動され、励まされ、勇気をもらった方も多かったのではないのでしょうか。東京2020大会が目前に迫っていることもあってか、各メディアもこれまでになく力を入れていたように思います。メダルを獲得できたか否かにもよりますが、以前に比べ、パラリンピックに関する報道にも時間や紙面が割かれていたように感じました。東京大会に向け、さらなる機運成熟を期待したいと思います。

さて、国の第2期スポーツ基本計画が昨年3月に発表させてからちょうど1年が経ちました。スポーツ立国の実現に向け、「1億総スポーツ社会」を掲げたこの計画は、鈴木大地スポーツ庁長官が自ら積極的にPR活動され、全国各地で開催された様々な講習会や研修会等でも取り上げられるなど、周知が図られてきています。さらに、ビジネスパーソンのスポーツ実施率の低さが課題となっているとして、スポーツ庁の官民連携プロジェクト「FUN+WALK PROJECT」を発足し、「歩く」という行動にFUN(グルメ、仕事、音楽、ファッション、デート、美容、ショッピング、写真、旅行、アート、イベント、自然)を組み合わせ、スポーツ習慣の定着を図っていくとしています。

東京都においては、これまで、「東京都スポーツ推進計画」(平成25年3月)と「東京都障害者スポーツ振興計画」(平成24年3月)に基づきスポーツ振興に取り組んできましたが、両計画策定後、東京2020大会及びラグビーワールドカップ2019™の開催決定や、都民の障害者スポーツへの関心の高まりなど、都のスポーツを取り巻く環境は大きく変化しています。その環境変化を的確に捉え、新たな施策を効果的に展開するとともに、スポーツ振興全般について、障害のある人に配慮した視点を持って普遍的に施策を展開していくために、現行の両計画を統合し、「東京都スポーツ推進総合計画」が平成29年度末に策定されます。

こうした中で、東京都のスポーツ実施率の推移をみると、平成19年に39.2%(20歳以上)であったも

のが、調査を行うごとに右肩上がり上昇し、平成26年の調査では60.5%と過去最高を記録しています。しかし、平成28年の調査(18歳以上)では56.3%となっております。スポーツ実施率向上のためには、これまでの取り組みを継続していただくだけでは改善できないと考えられます。私たちスポーツ推進委員も、東京都が目標としているスポーツ実施率70%の実現、健康寿命の達成、共生社会の実現、地域・経済の活性化に向けて、さらなる創意工夫により、スポーツ未実施者の掘り起こしに取り組んでいく必要があります。

こうした状況に加え、平成30年度は、関東スポーツ推進委員研究大会(東京大会)の開催、関東スポーツ推進委員協議会の運営を行っていくこととなります。

以上の方針に基づき、今年度の事業は次のとおりとします。

### 【会議】

#### 1.社員総会

- 第1回 5月19日(土) 文京区区民センター
- 第2回 9月26日(水) 武蔵野公会堂
- 第3回 12月12日(水) 練馬区役所
- 第4回 3月27日(水) 武蔵野公会堂
- 臨時総会 7月18日(水)

#### 2.理事会

- 4月11日(水)、5月9日(水)、6月13日(水)、
- 7月11日(水)、9月12日(水)、10月10日(水)、
- 11月7日(水)、
- 1月9日(水)、2月13日(水)、3月13日(水)

#### 3.各委員会(女性委員会を含む)

随時開催

#### 4.会長会

6月17日(日) 三鷹市産業プラザ

#### 5.監事監査

5月

#### 6.表彰審査会

4月 関東大会功労者及び都スポ協功労者

5月 全国大会功労者  
都スポ協事務所

## 7.その他

特別委員会が必要に応じて随時開催

### 【事業】

#### 1.東京都共催事業（予定）

##### (1) 広域地区別研修会

・広域地区別研修会開催地区

ブロック	担当地区	期 日	会 場
1B	中央区	7月 7日(土)	中央区立スポーツセンター
2B	文京区	9月 8日(土)	文京区民センター
3B	目黒区	9月 2日(日)	目黒パーシモンホール
4B	豊島区	9月 1日(土)	KE・Bzとしま産業振興プラザ
5B	足立区	9月29日(土)	足立区役所 庁舎ホール
6B	日野市	9月15日(土)	日野市民の森ふれあいホール
7B	奥多摩町	9月 1日(土)	奥多摩町福祉会館
8B	立川市	7月 7日(土)	立川市女性総合センター
9B	狛江市	9月 8日(土)	エコルマホール
10B	清瀬市	9月29日(土)	清瀬コミュニティプラザ
11B	八丈・青ヶ島	11月30日(金)	ニューピア竹芝サウスタワー

・ブロック責任者会議（平成31年度担当地区） 未定

##### (2) 課題別研修会 未定

##### (3) 地域スポーツ支援研修会

研修会名	期 日	会 場
区 部	1月26日(土)	港区男女参画センター・リーブラ
市町村部	2月 9日(土)	武蔵野市武蔵野シングホール
全 域	未定	未定

##### (4) 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

回 数	期 日	会 場
第1回	7月16日(祝)	新宿区コスミックセンター
第2回	8月11日(祝)	新宿区コスミックセンター
第3回	8月12日(日)	新宿区コスミックセンター
第4回	8月18日(土)	新宿区コスミックセンター
第5回	8月19日(日)	新宿区コスミックセンター

##### (5) 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会

回 数	期 日	会 場
第1回	10月28日(日)	葛飾区奥戸総合スポーツセンター
第2回	11月 3日(土)	葛飾区奥戸総合スポーツセンター
第3回	11月 4日(日)	葛飾区奥戸総合スポーツセンター
第4回	11月10日(土)	台東区パーサイドスポーツセンター
第5回	11月17日(土)	東京都障害者総合スポーツセンター
第6回	11月18日(日)	東京都障害者総合スポーツセンター

第7回	1月19日(土)	武蔵野総合体育館
第8回	1月26日(土)	武蔵野総合体育館
第9回	1月27日(日)	武蔵野総合体育館

## 2.自主事業

### (1) 研修事業

研修会名	期 日	会 場
ニュースポーツ研修会	中 止	
初任者講習会	未 定	未 定
実務研修会	未 定	未 定
女性委員会企画研修会	12月1日(土)	未 定

(2) 「東京都スポーツ推進委員だより」発行及び「都スポ協ホームページ」配信

(3) 調査研究・資料収集

(4) 顕彰（スポーツ推進委員功労者の表彰）

①（一社）東京都スポーツ推進委員協議会の表彰（功労者、感謝状、特別表彰）

②（公社）全国スポーツ推進委員連合の被表彰者の推薦（団体と個人）

③関東スポーツ推進委員協議会の被表彰者の推薦

## 3.派遣事業

(1) 関東スポーツ推進委員研究大会  
平成30年6月8日(金)～9日(土)  
東京都墨田区墨田総合体育館ほか

(2) 第59回全国スポーツ推進委員研究協議会  
平成30年11月15日(木)～16日(金)  
鹿児島県鹿児島市

(3) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2019  
未定（開催地：徳島県内定）

(4) スポーツ推進委員リーダー養成講習会  
未定

### 【協力事業】

#### 1.東京都（予定）

①東京都生涯スポーツ担当者研修会 未定

②障害者スポーツセミナー 平成31年3月2日(土)

2.第13回 JOC スポーツと環境・地域セミナー  
未定

3.新宿シティハーフマラソン  
平成31年1月27日(日)

## 4.東京マラソン

平成31年3月3日(日)

## 5.(公社)全国スポーツ推進委員連合

- ①機関誌「みんなのスポーツ」の購読促進
- ②「スポーツ推進委員手帳」「スポーツ推進委員ハンドブック」の普及推進
- ③シンボルマーク・グッズの普及推進(ジャンパー・ポロシャツ・バッジ・ペンダント・ネクタイ・タイピン・ピンブローチ等)
- ④賛助会員としての協力促進
- ⑤その他関連事項等

## 【その他】

(平成29年度第4回社員総会決定)

## 1.(公社)全国スポーツ推進委員連合理事会・総会

平成30年6月7日(木)

## 2.関東スポーツ推進委員協議会理事会

平成30年6月8日(金)

平成31年2月

## 2.関東スポーツ推進委員研究協議会女性委員会

平成30年5月25日(金)

平成30年11月30日(金)~12月1日(土)

## 社員総会



## 平成29年度 第4回社員総会

平成30年3月28日(水)、午後6時30分より立川市女性総合センター・アイムにおいて、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会の今年度最後となる第4回社員総会が開催されました。



新島会長の開会あいさつに続き、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長の佐藤祐樹様からご挨拶を賜り、今年度末に策定させる「東京都スポーツ推進総合計画」のお話などをいただきました。その後、同局スポーツ推進部調整課長代理の高橋佳瑞様、松下典子様、両氏ご同席の上、出席者35名、委任状12通、合計47票により、定足数(正会員の過半数)を満たすことが宣言され、議事に入りました。

\* \* \* \* \*

第4回社員総会に諮られた議事・協議事項等は、下記の事項です。

## 1.報告事項

- 1) 理事会報告(第8回、第9回、第10回)
- 2) 各委員会報告(企画総務、研修、情報、女性)
- 3) 財務報告(会費・賛助金他)
- 4) 研修会報告書について
- 5) 地域スポーツ支援研修会
- 6) 生涯スポーツ体力づくり全国会議2018
- 7) 関東地区スポーツ推進委員協議会理事会
- 8) 東京マラソン2018
- 9) 宿泊研修
- 10) リーダー委員会活動報告
- 11) その他

\* \* \* \* \*

報告事項について質疑応答の上、全て了承され、さらに協議事項についても全体協議の結果、全て承認されました。

## 2.協議事項

- 1) 平成30年度事業計画(案)について
- 2) 平成30年度予算(案)について
- 3) 平成30年度関東スポーツ推進委員研究大会  
東京大会(6月8日(金)~9日(土))  
・内容 ・コア会議 ・拡大実行委員会
- 4) その他  
都スポ協事務局の運営スタッフについて

## 3.その他

- 1) みんなのスポーツ・スポーツ推進委員手帳等の購入について
- 2) 総会・会長会・研修等の会場確保について
- 3) その他

また、来年度東京都で6月に開催される、関東スタッフユニフォームのデザイン案及び、大会プログラムの表紙案も披露されました。

全ての議事終了後、岡田副会長の閉会の辞を以って今年度の第4回社員総会は閉会しました。

記事 田辺浩一郎 情報委員会（渋谷区）

写真 才郷 正次 情報委員会（東大和市）

## 研修会



## 地域スポーツ支援研修会（区部）

1月27日(土)港区男女平等参画センター『リープ』で地域スポーツ支援研修会（区部）が行われました。東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課長 佐藤祐樹様の挨拶と都スポ協 新島二三彦会長の挨拶の後、「健康長寿社会の現状と課題に対するスポーツ推進委員への期待」をテーマに研修会を行いました。参加者は147名でした。



講師の地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 高齢者健康増進事業支援室プロジェクトリーダー・主任研究員 河合恒先生からは「地域包括ケアのための地域で進める介護予防」というテーマで講演が行われました。新しい地域包括ケアの中で介護予防が専門家によるサービスから地域住民を巻き込んだサービスへと変わり、地域での居場所づくりの大切さを述べられた。介護予防とは介護が必要な状態になることを予防することで、生活習慣病と老年症候群（フレイル）の予防が大切であるが、老年症候群は発見が難しいので、簡単に筋肉量を測る方法が紹介された。

足腰が丈夫な人は介護になりにくいという調査結果から高齢者の筋力が推奨されている。また高齢者のアンケートによると動ける人でも機会がないと出掛けない。そこで「今日の仕事」と「今日行くところ」を作っていく必要がある。そのためにも地域での共助、互助の活動の必要性を話された。



後半のトークセッションでは「健康長寿にかかわるスポーツ推進委員の活動の現状と課題」というテーマで、中央区の百瀬修至氏、文京区の正木博氏、目黒区の木村悟氏、豊島区の木下武氏、足立区の羽住敏久氏によって各地域での活動状況をお聞きしました。

記事 平野 秀夫 情報委員会（江戸川区）

写真 佐野 守 情報委員会（杉並区）

## 研修会



## 地域スポーツ支援研修会（市町村部）

2月10日(土)武蔵野スイングホールで地域スポーツ支援研修会（市町村部）が行われました。東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部 佐藤祐樹調整課長の挨拶と都スポ協 新島二三彦会長の挨拶の後、「健康長寿社会の現状と課題に対するスポーツ推進委員への期待」をテーマに研修会を行いました。参加者は145名でした。

講師の国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部長 宮地元彦氏からは「健康寿命延伸のための身体活動・運動」と



いうテーマで講演が行われました。健康寿命の延伸を阻害する要因として昔から糖尿病・心疾患などの内臓の問題が指摘されてきたが、それだけではなく足腰の問題によって元気で自立した生活が送れなくなる人が多くいる。要支援になる人の最大の原因は関節の問題であり、それらは環境や食生活や運動習慣によって引き起こされている。よって生活習慣を改善すれば防げるしくもなる。これからはスポーツ推進委員の方々に運動指導だけではなく、身体活動支援を行ってほしい。そのことによって運動から遠ざかっている人も運動量を上げることが出来る。厚生労働省は「健康づくりのための身体活動基準 2013 アクティブガイド」のなかで「+10で健康寿命をのばしましょう!」と言っている。+10とは1日10分間今までより体を動かそうということで日常生活のそうした改善が健康寿命を伸ばすとおっしゃっていた。



後半のトークセッションでは「健康長寿にかかわる

スポーツ推進委員の活動の現状と課題」というテーマで、日野市の中村光宏氏、奥多摩町の清水洗佑氏、立川市の松原幸子氏、狛江市の田村隆一氏、清瀬市の山本博志氏の方々から各地域での活動状況をお聞きしました。

記事 平野 秀夫 情報委員会（江戸川区）

写真 佐野 守 情報委員会（杉並区）

## 研修会



## 地域スポーツ支援研修会（全域）

2月17日(土)18日(日)江東区深川スポーツセンターで、地域スポーツ支援研修会（全域）が開催されました。

初日は、まず初めに東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課長 佐藤祐樹様にご挨拶をいただき、その後新島二三彦会長から、推進委員の取り組むべき資質向上について話がありました。

最初の講師は、上智大学教授・JOC 総務委員・日本体育協会元国際交流委員・日本レクリエーション協会元理事師岡文男氏をお迎えして「第2期スポーツ基本計画とスポーツ



推進委員」とのテーマで、第2期スポーツ基本計画のポイントである、スポーツの価値を具体化し発信、数値を含む成果指標、障害者スポーツの振興やスポーツの成長産業化などありスポーツ推進委員は普段と違う意識に自らを移行することで、大会ボランティア活動として参加でき社会を変える力があることをご講義いただきました。



次に、港区立地域包括支援センター白金の森保健師 臼井里美

氏・岩城澄恵氏の両氏に「安全管理の基礎」について、高齢者の安全管理の観点から、危険予知とその排除、緊急時とその対応法、活動実施前の事故防止策をグループワークで考えて、「いつもと違う」「何か違う」に気づき、日々の変化に注意することをご講義いただきました。

2日目は、(株)ジャクパ専任講師 根本弓子氏が「スポーツ障害・キネシオテープの使い方」のテーマで、キネシオテープの概念や、自分に合った疲労回復方法を見つける重要性、初期対応 R…休む、I…冷やす、C…圧迫、E…拳についてのご講義をいただき、続いて具体的な実技も行っていました。



午後には、レクリエーション・コーディネーター 鈴木二三彦氏とスポーツ・レクリエーション指導者 勝山景之氏による「スポーツ未実施者を引き込む手法」とのテーマで、4班に分か

れ、①ラダーゲッター②室内パタンク③手のひら健康バレー④カーレットの4種目を班対抗戦で体験講習しました。初めての受講者が多く、真剣かつ笑顔と笑い声が絶えない講習となりました。

最後は、日本体育大学教授 野村一路氏を講師にお迎えして、「スポーツ未実施者の参加促進法～スポーツ嫌いをなくすためには～」とのテーマで、中高年の参加者4分の3は経験者で残りの4分の1を掘り起こす重要性を推進委員が担っており、その為にはいままでの募集方法ではだめで、日々身体を動かすことを各自の身体チェックなどで分かり易く伝達し、気づいてもらう事が大事で、本人が選ぶ居場所と一緒に見つけるなど多種多様な連携を繋ぎ未実施者を運動に接する機会につなげるサポーター支援が必要とのご講義をいただきました。



様々な講義・実技を通して、便利な世の中、それ故に



身体を動かすことを意識しないといけないこと、「動かさないと動かなくなる」といった方程式のような日常生活を自分に目を向け互助的な活動をするを、二日間の研修で講師・内容は異なるが、推進委員として人との関わり合いを学んだ2日間でした。

記事 白鳥 敏子 情報委員会（北 区）

写真 稲垣 美保 情報委員会（中野区）

写真 才郷 正次 情報委員会（東大和市）

## 全国大会



## 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2018

生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2018 は、スポーツ立国の実現に向けて、スポーツに関連する多様な人々が一堂に会し、研究協議や意見交換を行い、今後のスポーツ推進方策について検討することを趣旨として、2月2日(金)、広島県広島市で開催されました。会議は、午前中に全体会(シンポジウム)が、午後には4つの分科会が行われました。私は公益社団法人全国スポーツ推進委員連合からの要請を受け、その第3分科会にパネリストとして参加しました。

## ■シンポジウム

シンポジウムは「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ～スポーツ立国の実現に向けて～」をテーマとし、コーディネーターに萩



裕美子氏(東海大学大学院体育学研究科長、東海大学体育学部教授)、パネリストに鈴木大地氏(スポーツ庁長官)、中村和彦氏(山梨大学教育学部長、山梨大学大学院教育学研究科長)、後山礼氏(株式会社博報堂テーマビジネス開発局アカウントディレクター/ビジネスプロデューサー)、佐藤安彦氏(熊本県南関町長)を迎えて行われました。

鈴木長官は、第2期スポーツ基本計画のポイントを分かりやすく説明されました。中村教授は「幼児期の外遊びの重要性とその後の運動習慣」について発表され、子どもが豊かな心と健やかなからだを育むために、遊びの必要条件である3つの間(時間、空間、仲間)と遊びを支えるプレイリーダーの存在が不可欠であると説かれました。後山氏は「スポーツ参画人口の拡大に向けた働く世代のスポーツ参加促進のための国民運動」と題して、歩くことをもっと楽しく、楽しいことをもっと健康的なものにする官民プロジェクトである「FUN+WALK」プロジェクト(FUN=グルメ、仕事、音楽、ファッション、デート、美容、自然、写真、旅行、アート、ショッピング)を説明されました。今年度は20代～40代のビジネスパーソン向けのシンボリックな活動として、プロジェクトの「仕事」と「ファッション」を包含する「歩きやすい服装での通勤」を推進しているということでした。佐藤町長は「高齢者のスポーツ参加促進方策」と題して、南関町の取り組みについて説明され、住民の真のニーズを実現するために必要なのは、住民力・地域力であると説かれました。

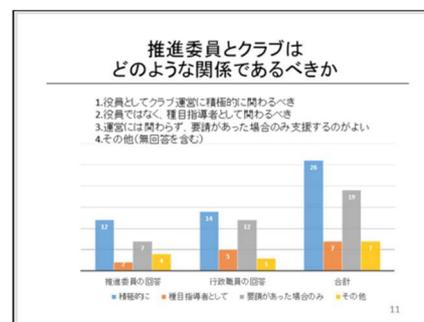
## ■第3分科会

第3分科会は、全国スポーツ推進委員連合が担当する分科会でした。「第2期スポーツ基本計画とスポーツ推進委員」をテーマとし、コーディネーターに柳沢和雄氏(筑

波大学体育系教授)、パネリストに谷畑英吾氏(滋賀県湖南市長)、工藤保子氏(大東文化大学スポーツ・健康科学部スポーツ科学科准教授)、私(都スポ協会長)というメンバー構成でした。

谷畑市長は「湖南市のスポーツの現状と課題」と題して、湖南市スポーツ推進計画に基づく活動の現状、湖南市の今後の課題と方向性について説明されました。工藤准教授は「地域スポーツ振興へのスポーツ推進委員の関わり方」と題し、これからのスポーツ推進委員は地域スポーツ振興のグランドデザイン(全体構想)ができることが求められ、グランドデザインをするためには地域の「どこに」「何が」あるのか、どんな「現状」「課題」をかかえているのか知っておくことが大事だと説かれました。

私は「総合型地域スポーツクラブとスポーツ推進委員の関係」について発表しました。発表には、昨年11月に各地区の皆様にご協力いただいたアンケート調査の結果を使わせていただきました。東京都のスポーツ推進委員が地域スポーツクラブとどのような関わり方をしていて、何が課題とされているのか、推進委員とクラブはどのような関係が望ましいと考えられているのか、自身の経験も交え、「クラブと推進委員の関係について(スポーツ団各人口の可 k ダウに向けての私見)」という形でまとめさせていただきました。



3時間という長丁場の分科会でしたが、皆様にご協力いただいたおかげで何とか乗り切ることができました。この場をお借り

して感謝申し上げます。

## ■その他の分科会

第1分科会：スポーツを通じた社会の発展や課題解決を考える ～スポーツ団体等と企業との連携・協働から～ 担当：日本体育協会

第2分科会：全ての国民が生活の中でスポーツを豊かに楽しむための指導とは ～オリンピック・パラリンピックレガシーとしての指導者の在り方を考える～ 担当：日本レクリエーション協会

第4分科会：障がい者の運動・スポーツ環境を支える～スポーツ活動の日常化へ向けた支援者の連携を考える～ 担当：日本障がい者スポーツ協会

記事・写真 会長 新島二三彦

## 事業



## 東京マラソン 2018

2018年2月25日(日)東京マラソン2018が開催され、今回も12倍以上の倍率を潜り抜けたランナーを含む、36,000名の選手が東京の街を駆け抜けました。

東京都スポーツ推進委員協議会に依頼され、各地域から参加した推進委員ボラ



ンティア数はリーダーを含む103名。新宿飯田橋ブロック14名、神田日本橋ブロック12名、両国ブロック11名、清澄門前中町ブロック11名、銀座有楽町ブロック19名、日比谷丸の内ブロック16名、芝高輪ブロック11名、リーダー9名と推進委員の皆さんは担当する地区に配置されました。

それぞれリーダーの指示のもと、トイレの位置を確認したり、交通規制の時間に合わせコーンやバーを設置したりと準備を進めます。30キロ地点の銀座有楽町ブロックでは、スタートから1時間30分を過ぎた頃から観客数も増え「選手たちは何時頃通過するのか?」「30キロ通過のタイムリミットは何時か?」などマラソンに関する質問も多く聞かれました。事前に確認しておけばよかったと思うことも多くあり、配置された地区によって仕入れる情報は違ってくる

びました。

せっかくボランティアをするので、選手や観客と共に楽しく東京マラソンに参加し、盛り上げたいと思います。観客は規制線の内側まで入り込まない、大会関係者は荷物を最小限にして身に付け、不用意に置いたままにしないなど、それぞれがルールを守ってこそ楽しめるイベントだと思いました。

今回の東京マラソン2018大会では、車いす男子は山本浩之選手、女子はマニユエラ・シャー選手、そしてマラソン男子はディクソン・チュンバ選手、女子はベルハネ・ディババ選手が優勝を飾りました。そして、



今大会のマラソン男子では16年ぶりに設楽悠太選手が2時間6分11秒で日本記録を更新し2位となりました。

2020東京オリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍が、ますます楽しみになった大会でした。

記事 松田 文子 情報委員会(豊島区)

写真 仲 豊子 情報委員会(中野区)

## 研修会



## 東京都障害者スポーツセミナー

2月24日(土)明治大学中野キャンパスにおいて、東京都・(公社)東京都障害者スポーツ協会・東京都障害者スポーツ指導者協議会主催で、東京都障害者スポーツセミナーが開催されました。

第1部の基調講演として、2013・2017デフリンピックバレーボール女子日本代表監督 狩野美雪氏、2016リオパラリンピック水泳代表監督兼ヘッドコーチ 峰村史世氏、2004アテネ2008北京パラリンピック車いすバスケットボール日本代表選手 森紀之氏をゲストに迎え、NHK福岡放送局アナウンサー 永井伸一氏の進行で、「人を導くためのヒント」とのテーマで、ディスカッション形式のお話をいただきました。

ゲストの方々が豊富な経験から、コーチ・選手の双方の立場から感じたことから、「コーチング」が単なる協議指導ではなく、人を導くこと、成長を促していくことにつながるための、コミュニケーションの手法としての活用法についてお話いただきました。

第2部の分科会では、第一線で指導に当たっている方々を講師として、障害種別ごとに、指導を行う上での配慮のポイント、コミュニケーションの工夫などをお話いただきました。

～各分科会の講師～

## ① 肢体不自由

丸山弘道氏((株)オフィス丸山弘道 代表取締役)

八尋大氏(ロンドン2012パラリンピック水泳

日本代表コーチ)

## ② 視覚障害

寺西真人氏(筑波大学付属資格特別支援学校 教諭)

山本夏幹氏(筑波大学付属資格特別支援学校 教諭)

## ③ 聴覚障害

狩野美雪氏(デフリンピックソフィア2013・サムスン

2017バレーボール女子日

本代表監督)

佐藤真二氏(協和発酵キリン男子卓球部監督)

## ④ 知的障害

江木ひかり氏（認定特定非営利活動法人トラッソス理事長）

岡澤政子氏（葛飾区立平井中学校 主幹教諭）

第3部のインフォメーションでは、障害者スポーツを支える人材の活動活性化 DVD「ステップ バイ ステップ！一スポーツがつなぐキズナー」の完成披露上映が行われました。

多くの参加者を迎えて開催された今回の障害者フォーラムは、“コーチング”について、身近な話からより専門性の高い話しまで多岐に渡り、質疑応答の時間では、積極的な質問が多く出され、講師の方々はその経験の踏まえて、ひとつひとつに対して丁寧に答えていました。

また、今回完成披露上映されたDVDは、あらゆる世代へ障害者スポーツの「もうひとつの」魅力である「障害者スポーツを支える魅力」を伝えるドラマ仕立てになっており、障害者スポーツにこれまで興味がなかった方、活発に活動中の方、活動から少し遠ざかっている方、それぞれの立場で、登場人物に共感できるものになっており、今後の人材発掘・育成の啓発活動に、大いに活用されることが期待されます。

記事 田辺浩一郎 情報委員会（渋谷区）

## 研修会

平成30年3月4日(日)、5日(月)の両日にわたり、静岡県熱海市の四季倶楽部望洋館において平成29年度宿泊研修会が行われました。受講参加者は40名でした。

4日午後2時からの開講式では新島会長が地元の行事により、開講式に間に合わないため、島田副会長の挨拶がありました。



講義の内容はⅠ「障がい者との関わり」として、元日本ライトフラ

イ級1位、上級救命技能、日本体育協会公認スポーツリーダー、日本障がい者スポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員の松村竜二氏により、自身の交通事故により左手に障がいを抱えながら、プロボクシングの試合を行った事。引退後の活動として小学生を対象としたボクシング体験を通じ、殴る痛み、殴られる痛みを体験する事によるいじめの防止や障がい者（知的・身体的）を対象にボクシング教室などの活動体験を話されました。

Ⅱ「ウォーミングアップ&クールダウン」として理学療法士の濱秀憲氏によりストレッチの効果を話されました。腰痛などを治す事は出来ないがストレッチにより痛みを和らげたり、肩や足などの関節の可動域を大きくする方法、体幹を鍛える方法などを参加者をモデ

## 宿泊研修会

ルにして、また全員にストレッチの効果を体験してもらいました。

Ⅲ「ボクシングエクササイズの実践」として静岡市でボクシングジムを運営している元プロボクサーの浅沼晋氏と浅沼江里子氏の指導により準備体操としてボクシングのトレーニング方法から始まり、腕の構え方、パンチの打ち方に続き、ミット打ちで汗を流しました。

ボクシングエクササイズで汗を流した後は温泉で疲れを取り、夕食時に情報交換会が行われました。

翌朝は仕事のため朝食後慌しく宿を出発する参加者も有りましたが、朝9時には閉講式を行い小雨の中、自由解散となりました。



記事・写真 小久保 佳昭 情報委員会(八王子市)

## 各地区の情報



## 情報ひろば

## &lt;町田市&gt;

町田市スポーツ推進委員会は市より委嘱を受けた15名(出身は体操、卓球、バドミントン、ソフトボール、バスケットボール、野球、トランポリン、障がい者スポーツ、陸上競技、水泳、バレーボール、トライアスロンと多士済々で中には国際体操コーチ、国際審判員もいます)が市のスポーツイベント等に運営、協力、他団体との共同事業や自主事業等に努めています。



主催事業としては小学生及び保護者が対象の「スポーツにチャレンジ」を年5回実施し、トランポリンを始めとする複合競技(写真参照)、ポッチャ、ラダーゲッター、手のひら健康バレー他、毎回60名の定員で、常にキャンセル待ちが出る人気事業です。

協力事業として「市民体カテスト(参加者200名)」「障がい者スポーツ大会(参加者750名)」「子どもマラソン大会(参加者2,500名)」では各担当の責任者を任されています。

また高齢者を対象とした「まちのスポーツ推進事業(運動習慣を身につけることで健康寿命の延伸を図る)」は座学と実践の二部構成の進行役を担います。毎月一回、本庁舎会議室で開催される定例会では、各委員からの実践報告及び、それぞれの専門分野を生かした、市民の体力向上に向けての新たなプロジェクトの立ち上げ等、熱のこもった内容の討議が重ねられています。

池田篤司(町田市スポーツ推進委員)

\*\*\*\*\*

## &lt;狛江市&gt;

狛江市のスポーツ推進委員は、12名で活動しております。

さまざま行っている事業の中で中心的なものは、スポーツ教室です。大きく成人と青少年にわけ、それぞれ複数の種目を展開しています。成人では、卓球・バドミントン・レクリエーション吹矢、青少年は卓球・フットサル・タグラグビーなど種目により1回から最長10回の教室となっており、これからスポーツを始めたいと思っている方の体験の場として、また、日頃の運動不足解消のためなど、幅広い年齢層の方に参加いただいております。これからも継続して開催し、この教室を通じてスポーツ人口が更に増加することを願っております。

また、近年は「ポッチャ」に力を入れております。2020年の東京オリンピック・パラリンピックが迫る中、障がい者スポーツの理解促進を図るべく、小中学校への出前教室や、市のイベントでの体験会など、多くの方々に触れてもらえるよう工夫を凝らしてあります。

す。



これからも、時代に合った新たな教室やイベントを企画し、市民の方がスポーツに触れ、いつまでも健康でいられるような社会を目指し、努力を重ねてまいります。

田村隆一(狛江市スポーツ推進委員会議 会長)

\*\*\*\*\*

## <清瀬市>

清瀬市のスポーツ推進委員は、近隣自治体に比べて少数の12名で活動しています。年間事業は大きく分けて市民ウォーキング、市内小中学生陸上記録会、小学生対象の宿泊スポーツ体験・スーパードッジボール大会、ニュースポーツ体験、ティーボール大会などの企画、運営をしています。

小学生対象事業は10年20年と回を重ねる毎に盛



り上がり傾向にあります。市民ウォーキングは参加者

の年代に偏りがみられ、若年層参加の興味の湧くコース企画がカギとなっています。

新企画としてTOKYO 2020を盛り上げるために東京マラソンコースを4区に分けて、「走れないけど完走を」と目標を立て、2年をかけて春・秋を約10.5キロ×4回参加で42.195キロ完全踏破しようと企画しています。

ニュースポーツ体験では、独自の考案でドッチビーディスクを使ってパスしか出来ないポートボール、おにぎり形のボールを使ったフラバールバレー、スポーツ鬼ごっこ等を企画して市民に紹介しています。新事業で日が浅いため、各推進委員が既存スポーツ、ニュースポーツのルールアレンジをし、年齢差、運動経験の有無関係なく、誰でも気軽に参加し楽しめる企画をしていきたいと思案中です。また、市体育協会などの事業にも運営協力してお互いのスポーツ事業推進に努めています。

小柳靖雄（清瀬市スポーツ推進委員）

#####

### 編集後記

今年度の情報委員会は、東京都スポーツ推進委員協議会60周年記念誌の編集発行作業、地域スポーツ支援研修会開催当番などが重なり、例年以上に多事多端な一年間の活動となりました。その中で、皆様のご協力・ご尽力により、「都スポだより114号」無事に発行できましたこと、心より御礼申し上げます。

来年度は、いよいよ平成30年6月に関東スポーツ推進委員研究大会が東京で開催されます。今まで以上に、皆様方のご指導・ご協力が重要です。

情報委員会も、一丸となって、取り組んでまいります。

編集 情報委員会 田辺 浩一郎（渋谷区）

#####